

総001	項目名	財産管理事務費	
予算書項目	事務費等	ページ	35
年度	R7	所属名	総務部 財産経営課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】財産政策第二係 0857-30-8132		
款	【11次総の施策体系】3101		
項	【事業の経過及び背景】 令和7年7月に吉岡温泉町地内の市有地で樹木が根腐れにより倒れ、隣地家屋の屋根瓦、窓等を損傷したため、早急な対応が必要となった。		
目	【事業の目的及び効果】 倒木処理及び隣地家屋の修繕を速やかに行い、被害の拡大防止を図る。		
(単位:千円)			
補正前額	41,621	要求額	1,218
総務部長段階査定額	1,218	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,218	分担金	0
区 分	補正額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	1,218	繰入金	0
計	1,218	諸収入	0
備考欄			

総002	項目名	包括的施設管理事業費	
予算書項目	財産管理費	ページ	35
年度	R7	所属名	総務部 資産活用推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】施設経営係 0857-30-8136		
款	【11次総の施策体系】0003		
項	【事業の経過及び背景】 高度経済成長並びに人口増加を背景に整備された公共施設の老朽化が進んでおり、それら公共施設の更新問題が大きな課題となっている。公共施設の更新問題は、更新経費が不足するという問題であり、建物床面積の圧縮のみならず、施設の用途廃止や維持管理経費の縮減も含めた、コストマネジメントに取り組む必要がある。		
目	【事業の目的及び効果】 公共施設管理業務について、施設所管課ごと、建物ごとに契約していた清掃業務や消防設備点検保守業務について、業務ごとにまとめて発注・契約を行うことで、業務水準の見直し(均等化)、事務負担の軽減、委託料の削減などの効率化を図る。また、包括管理業務により、複数の公共施設を一括で専門の民間事業者が管理することで、施設担当者の事務負担の軽減や効率的で質の高い施設管理を行う。		
(単位:千円)			
補正前額	468,123	要求額	16,767
総務部長段階査定額	16,767	その他財源の内訳	
市長段階査定額	16,767	分担金	0
区 分	補正額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	16,767	繰入金	0
計	16,767	諸収入	0
備考欄			

総003

項目名

ふるさと納税推進事業費

予算書項目

税務事務費

ページ

37

所属名

総務部
資産活用推進課

年度

R7

会計名

一般会計

款 総務費

項 徴税費

目 税務総務費

(単位:千円)

補正前額 359,729

要求額 191,498

総務部長段階査定額 191,498

市長段階査定額 191,498

区分	補正額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	191,498
計	191,498

備考欄

事業の概要

【問合せ先】ふるさと納税係 0857-30-8137

【11次総の施策体系】0003

【事業の経過及び背景】

「ふるさと納税」制度は、都市部と地方の税収格差を正を目的に平成20年度創設された。納税者がふるさとや応援する地方公共団体に寄附した際、個人住民税から寄附金の一部が控除される。

【事業の目的及び効果】

ふるさと納税制度を利用した本市への寄附者及び寄附金額の増加を図るため、パンフレット作成や各種PRを行うとともに、寄附者への返礼品の提供を通じ、地元産品のPRを行い地場産業の振興につなげる。

【事業の内容】

当初予算を上回る寄附件数及び金額が見込まれるため、寄附者への返礼品に係る報償費など必要な経費を計上する。

<令和7年度ふるさとの納税による寄附件数及び寄附金額>

当初予算 27,000件 750,000千円

決算見込 28,000件 1,160,000千円 (10月末での見込)

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
譲収入	0
その他	0